

株式会社 エヌ・ピー・シー

2012年8月期第2四半期決算説明会資料

代表取締役社長 伊藤 雅文

2012年4月10日



npcgroup.net

新竹城隍廟

IR2012.04.10



npcgroup.net
Beyond The Best

2012年8月期第2四半期決算概要

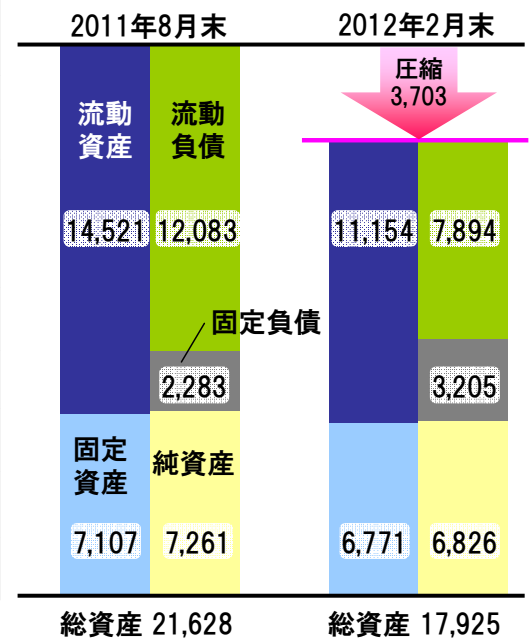
損益計算書

	2011年8月期				2012年8月期		
	第2四半期累計		通期実績		第2四半期累計		
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	8,375	100.0	16,575	100.0	4,227	100.0	-49.5
売上総利益	638	7.6	1,481	8.9	554	13.1	-13.1
販売管理費	1,619	19.3	2,887	17.4	1,227	29.0	-24.2
営業利益	-981	-11.7	-1,406	-8.5	-672	-15.9	-
経常利益	-831	-9.9	-1,072	-6.5	-699	-16.5	-
税引前当期純利益	-829	-9.9	-953	-5.7	-699	-16.5	-
当期純利益	-604	-7.2	-861	-5.2	-503	-11.9	-

(注)前年同期比は、その増減比であります。

貸借対照表

(単位:百万円)



第2四半期決算概要

環境

- モジュールの過剰生産による生産調整時期
- モジュール価格の下落による太陽電池メーカーの採算悪化
- ユーロ安による欧州向け輸出比率が高い太陽電池メーカーの採算悪化

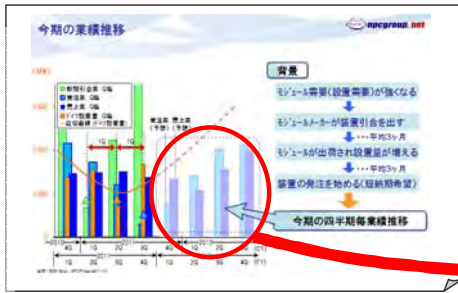
設備投資意欲の低迷

貸借対照表

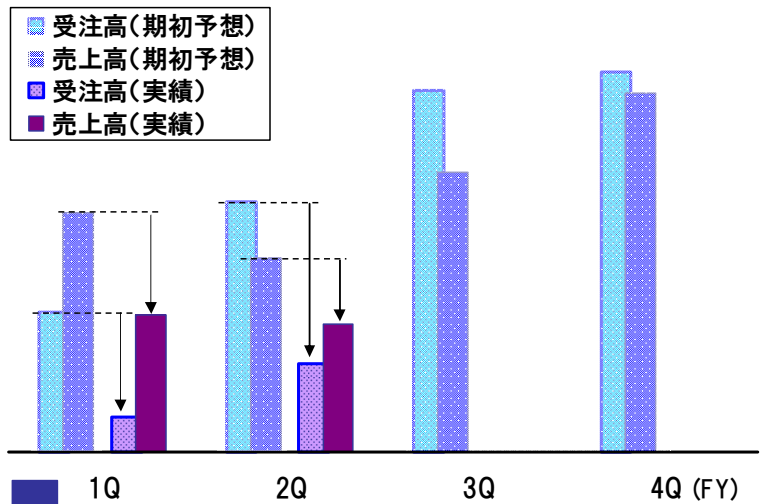
- 流動負債の圧縮により総資産3,703百万円の圧縮(圧縮率:17%)
- 回収条件の改善により前受金が増加(手元流動比率:143→252%)
- 転換社債1,500百万円の発行による資本増強(自己資本比率:33→38%)

損益計算書

- 売上予定の一部は顧客都合により下期計上へ
- 粗利率は4.2%改善(前期通期比)
- 大幅な経費削減(販売管理費:前年同期比24%減、392百万円の削減)



2011年10月決算説明会資料より



- 回復サイクル(受注の底は1Q、売上の底は2Q)は、ほぼ想定通りであった。
- しかし、落込率は想定以上に大きかった。
→ 受注・売上ともに上期に底を打ち、下期は回復基調との見込みに変更はない。

Copyright © 2012 NPC Incorporated. All rights reserved.

4

通期予想

環境

- モジュール在庫レベルの低下のため、新規設備投資の再開
- 金融危機の緩和やユーロ安の解消による、太陽電池メーカーの収益性改善
- 全自動化・高効率化向け装置の需要増加

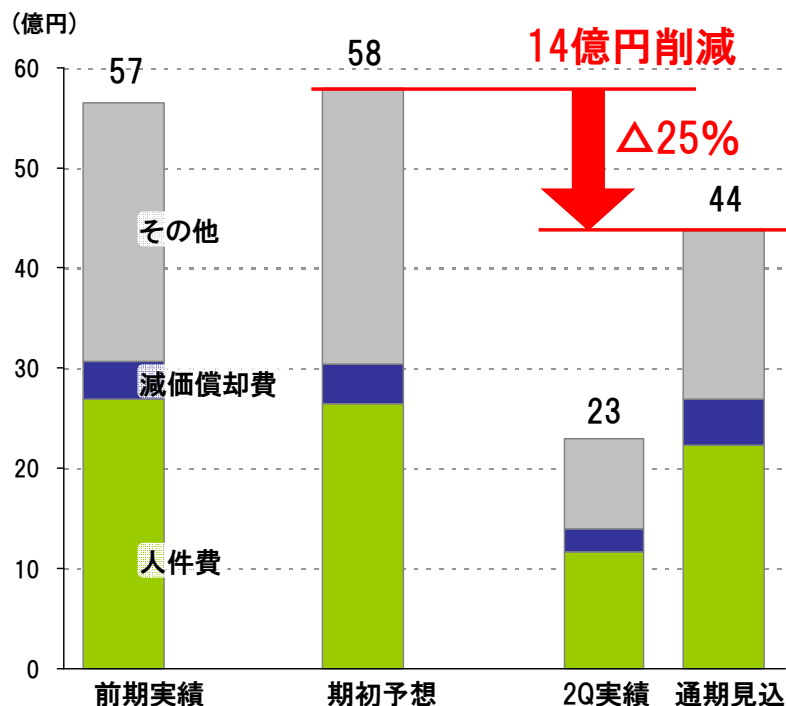
通期見通し

- 設備投資意欲の回復と投入した新製品の収穫により、第2四半期から受注増加
→ 新製品の今期売上見込みは約70億円
- 製作納期の短縮と仕掛品の消化により、売上高の確保とバランスシートの修復
→ 標準製品の納期は1~2ヶ月に短縮
- 一層の費用削減により、利益の確保
→ 期初計画比△25%、14億円の削減

Copyright © 2012 NPC Incorporated. All rights reserved.

5

2012年8月期の総費用



アクション

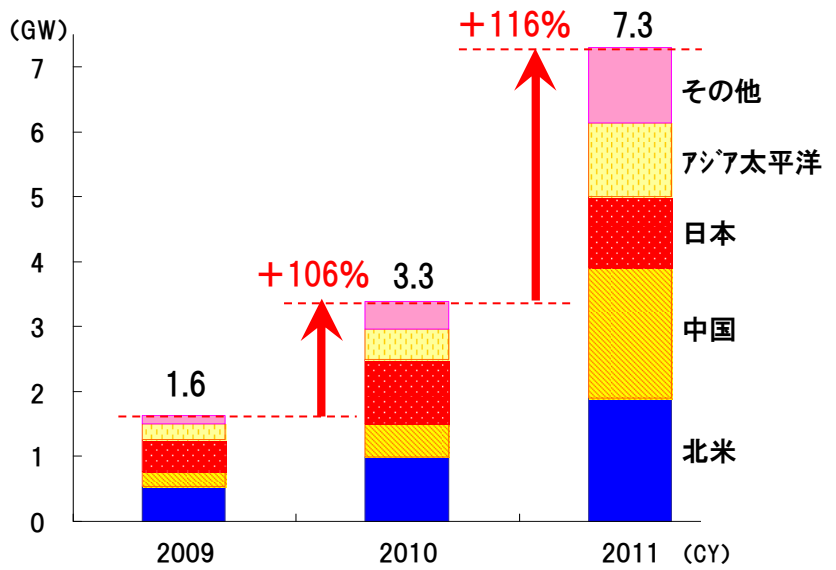
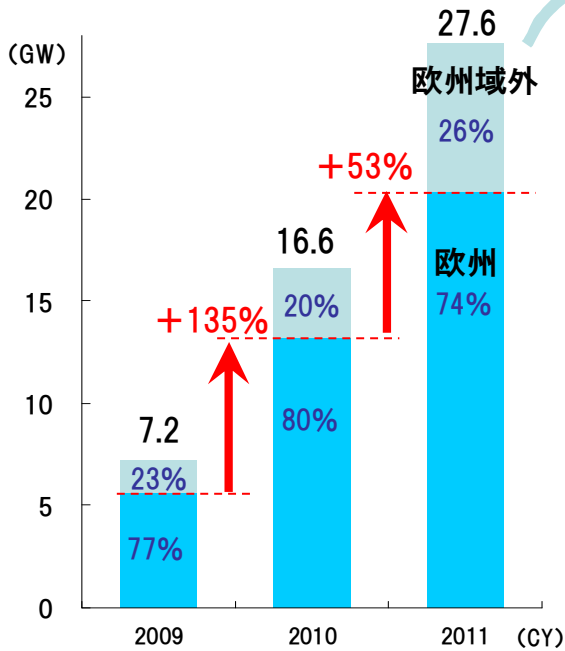
組織改革と信賞必罰

- ・1本部制移行による組織のスリム化
- ・東京工場を松山工場に集約
- ・大阪営業所を東京本社に集約
- ・欧州事業所の再編
- ・報酬の見直し
- ・配置転換による経費の最小化

太陽電池市場と当社取り組み

世界の設置量

欧州域外の設置量



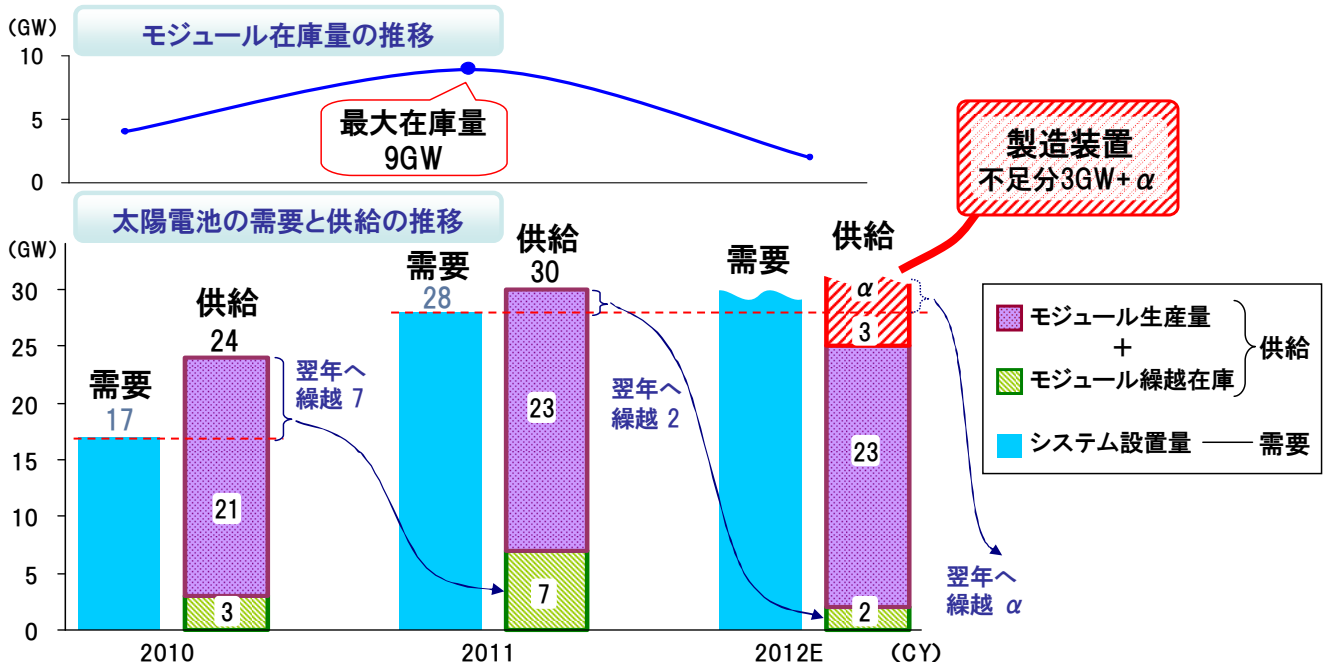
設置需要は、欧州集中から世界(欧州域外)に拡大

出所: EPIA (欧州太陽光発電産業協会) Global Solar Outlook for Photovoltaics until 2015 & Market Report 2011

Copyright © 2012 NPC Incorporated. All rights reserved.

需給の好転

- 2011年の需要に対しては、前年からのモジュール繰越在庫と当年度生産分で供給が可能であった。
- 2012年への繰越在庫は低水準のため、需要増に対する、新たな設備投資が必要。



出所: システム設置量 : EPIA (欧州太陽光発電産業協会) Global Solar Outlook for Photovoltaics until 2015 & Market Report 2011
モジュール生産量 : NPC-Prepared-1204

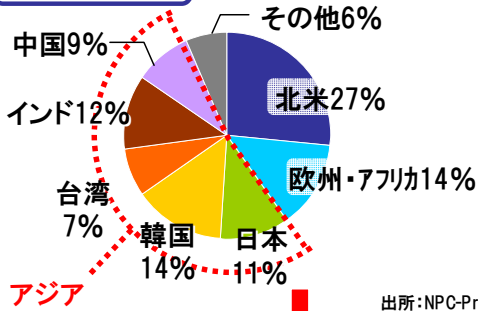
Copyright © 2012 NPC Incorporated. All rights reserved.

地域別

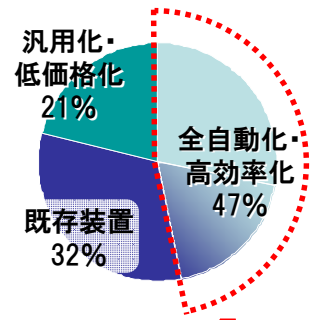
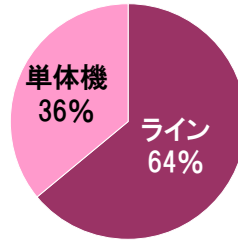
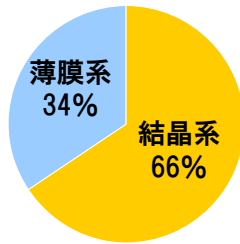
太陽電池種類別

装置別

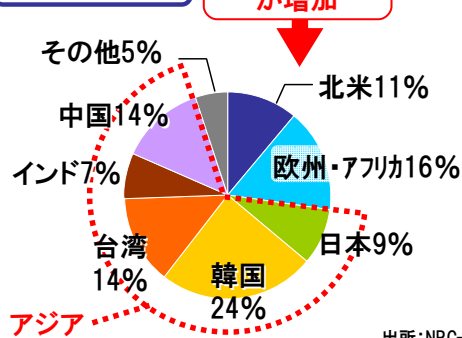
2011年8月末



出所: NPC-Prepared-1110 金額ベース

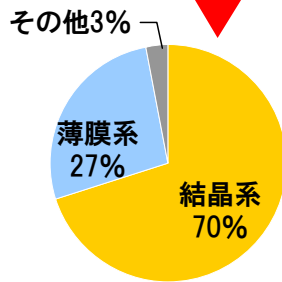


2012年2月末

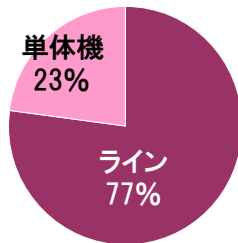


アジアの比率が増加

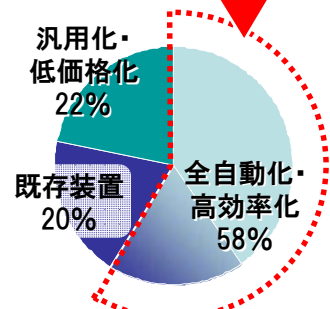
出所: NPC-Prepared-1204 金額ベース



ほぼ変わらず



自動化への移行を示唆



全自動化・高効率化へのシフトが進む

Copyright © 2012 NPC Incorporated. All rights reserved.

目的

技術革新

..... 開発段階
—— 量産段階

薄膜系

変換効率向上
生産効率向上
多用途化
システム発電効率向上

タンデム型

高効率化

全自動化

大面積化

フレキシブル

低電圧化(複数回路)

結晶系

変換効率向上
小電力用途
高効率セル対応

2本バスバー

3本バスバー

4本バスバー

バックコンタクトセル

カットセル

新材料採用(LHS, CF, CP)

出所: NPC-Prepared-1204

2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 (CY)

従来の装置では新技術への対応は難しい
→ 既存装置の置換・改造

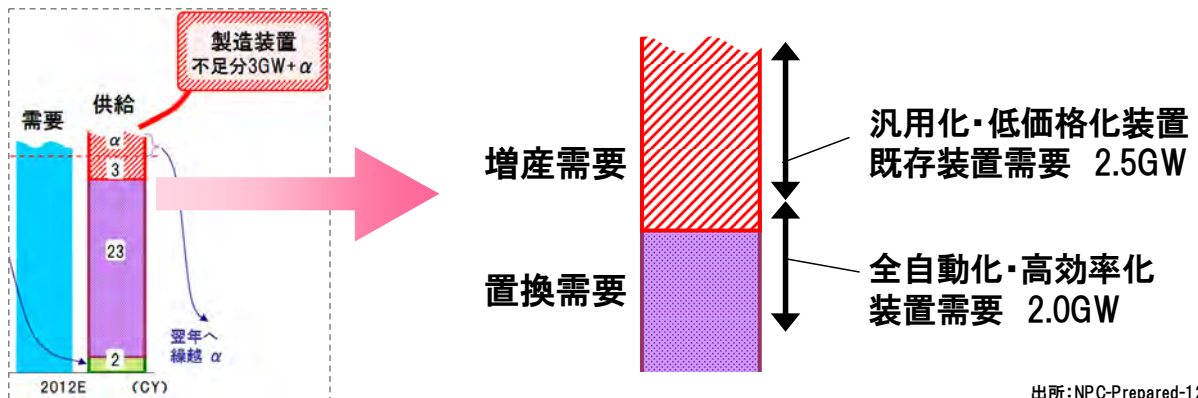
Copyright © 2012 NPC Incorporated. All rights reserved.

市場見込み

- 太陽電池の設置需要は、欧州集中から世界に拡大している。
日本・中国を中心としたアジアと北米、更にインドや中東へも拡がりが見込まれる。
- ユーロ安の解消により、太陽電池メーカーの収益性の改善が見込まれる。

装置需要見込み

- 2012年度初めに太陽電池モジュールの過剰在庫の解消が進んだ。
- 今後の需要増に対応するため、新規設備投資(増産需要)が再開される。
- 全自動化・高効率化向け装置需要(置換需要)が増加傾向にある。



出所: NPC-Prepared-1204

Copyright © 2012 NPC Incorporated. All rights reserved.

装置需要動向に対応した取り組み

汎用化・低価格化 2.5GW

海外生産・海外調達強化
→ 製造コスト削減

海外生産

- ・中国協力工場での生産拡大
- ・欧州事業所の再編
- ・3極(松山、ドイツ、中国)生産体制の確立
⇒海外生産比率20%目標

海外調達

- ・海外調達部門を設置
- ・台湾、中国、欧州からの部品/加工品の調達
- ・海外調達比率35%(50MW標準ラインの場合)
⇒削減効果20%



2011年10月決算説明会資料より

全自動化・高効率化 2.0GW

新製品の開発強化
→ 新たに投入した3機種を収穫

低電圧化対応電極形成装置



- ・薄膜系モジュールの発電効率向上

新材料対応セル自動配線装置



- ・新材料(CP:導電性ペースト等)対応の新配線方式

バックコンタクトセル対応自動配線装置



- ・様々なバックコンタクト技術に対応

Copyright © 2012 NPC Incorporated. All rights reserved.

NPCグループは、
「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針にのっとり、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球
環境、地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー 企画情報部 IRグループ

電話 : 03-5615-5069 FAX : 03-3801-0721
E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。